

栃木市における地域おこし協力隊の目的と活動について

栃木市にとっての地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化の進行が進む本市において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ること、及び隊員の活動通じ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的としております。

島田隊員に対するミッション

具体的に島田隊員に対するミッションについては、「地域資源の発掘・紹介」「地域資源を使った新商品開発」「移住及び定住の促進に関する活動」などを与えています。

○ 1年目において

いろいろな出会いの中で知り合った3名の方をホームページ「憧れのトチギーン」サイトを改修した上で、紹介しました。

また、売り物にはならないが、商品としては十分利用できる野菜や果実などを活用し、商品開発などにも取り組みました。

○ 2年目において

地域力の維持・強化へのアプローチに対し、より地域と関わりながらの活動を行いたいという隊員の希望から、今回移動小屋を活動拠点とし、地域と密着した地域活動を行っています。

現在、寺尾地区にて地域に密着した活動を行っておりますが、この後は、岩舟地区や藤岡地区を予定し、地域に密着した活動を行う予定です。

【プロフィール】

氏名：島田 千晶（しまだ ちあき） 年齢：26歳

前住所：東京都台東区（栃木市出身） 前職：アウトソーシング企業【正社員】

志望動機：

栃木市で生活する人々の心の温かさ、豊かな自然と食、情緒あふれる歴史的な建造物などの良さを市外に出て改めて実感したという。そのことから地元に戻り、市の魅力を市内外に発信しながら、人と人との出会い、絆づくりを行って、市の発展に貢献したい。

委嘱期間：平成29年6月1日～平成30年3月31日【1年更新、最長3年間】

地域おこし協力隊活動報告

今年、5月から活動拠点として「移動小屋」を設置し、活動を行っております。

・主な活動内容

○地域行事への積極的な参加

- ・地域清掃活動や地域夏まつりのお囃子練習など

○小・中学校授業へのボランティアとしての参加

- ・サマープランへの参加や田植え教室参加など

○地域の人と共に活動

- ・イノシシ柵作りや農作業のお手伝いなど

(活動拠点移動小屋写真)

